



05 インパクトカビレスQ IMPACT KABILESS Q

安全データシート〈SDS〉兼 GHS分類シート

目次 / TABLE OF CONTENTS

① 化学品及び会社情報	⑦ 暴露防止及び保護処置	⑬ 廃棄上の注意
② 危険性・有害性の要約	⑧ 取扱い及び保管上の注意	⑭ 輸送上の注意
③ 組成・成分情報	⑨ 物理的及び化学的性質	⑮ 適用法令
④ 応急処置	⑩ 安定性及び反応性	⑯ その他の情報
⑤ 火災時の処理 応急処置	⑪ 有害性情報	
⑥ 漏出時の処置	⑫ 環境影響情報	

① 製品及び会社情報

製品名	: インパクトカビレスQ (IMPACT KABI LESS Q)
製品コード	: IMP-KLS-300/ IMP-KLS-500
製品の推奨用途	: カビ・ヤニ用洗浄剤
使用上の制限	: 用途以外に使用しないこと
販売者	: PROUP株式会社
住所	: 新潟県新潟市中央区西大畑町617-2
TEL	: 025-290-7704
FAX	: 025-290-7794
緊急連絡先	: info@proup-impact.co.jp 025-290-7704

2 危険性・有害性の要約

GHS分類

危険有害性クラス	区分
金属腐食性物質	区分外～分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2（皮膚刺激）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A（眼刺激）
急性毒性（経口・経皮・吸入）	区分外
水生環境有害性（短期・急性）	区分3
その他	分類対象外・区分外・分類できない

ラベル要素



絵表示: 感嘆符（GHS07）／環境（GHS09）

注意喚起語:

警 告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激のおそれ

H319 強い眼刺激のおそれ

H402 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- 全ての安全注意事項を理解するまで取り扱わないこと
- 保護手袋、保護眼鏡を着用すること
- 屋内で使用する際は換気をよくして使用すること
- ミストや蒸気を吸入しないこと
- 取扱い後はよく手を洗うこと
- **酸性製品と混ぜて使用しないこと（有毒な塩素ガスが発生するおそれ）**

【応急処置】

- **皮膚**：直ちに大量の水で洗い流す。刺激が続く場合は医師の診察
- **目**：水で15分以上洗浄。コンタクトレンズは外し洗浄継続。医師の診察
- **吸入**：新鮮な空気のある場所に移動し休息。気分が悪い場合は医師に連絡
- **誤飲**：口をすすぐ。無理に吐かせず直ちに医師に連絡

【保管】

- 遮光性容器に入れ、直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管
- 子供の手の届かない場所
- 酸性物質と一緒に保管しないこと

【廃棄】

- 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処分

③ 組成・成分情報

- 単一製品／混合物: 混合物
- 化学的特性: 弱アルカリ性水溶液（次亜塩素酸塩含有）

成分名	CAS番号	含有量（wt%）
次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9	約0.96%（1%未満）
水酸化ナトリウム	1310-73-2	0.32%未満
水酸化カリウム	1310-58-3	0.05%未満
非イオン界面活性剤（脂肪酸系）	非公開	0.05%未満
アルカリビルダー	非公開	0.05%未満
金属封鎖剤	非公開	微量
安定化剤	非公開	微量
着色料	非公開	微量
水	7732-18-5	約97%以上

4 応急処置

● 皮膚に付着した場合

- 汚染された衣類を直ちに脱ぐ
- 皮膚を流水又はシャワーで少なくとも15分間洗浄
- 刺激・発疹などが生じた場合は医師の診察

● 吸入した場合

- 新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息
- 気分が悪い場合、咳、息苦しさが続く場合は医師に連絡

● 目に入った場合

- 水で15分以上、慎重に洗浄
- コンタクトレンズを着用しており容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける
- 眼刺激が続く場合は医師の診察

● 飲み込んだ場合

- 口をすすぐ
- 無理に吐かせない
- 直ちに医師に連絡し、本SDSを提示

● **急性症状:** 皮膚・粘膜への刺激（発赤、痛み）、眼への強い刺激

● **応急措置をする者の保護:**保護手袋・保護眼鏡を着用

5 火災時の処理

- **消火剤:** 不燃性。粉末消火剤、二酸化炭素、水、泡、一般消火剤を使用可
- **使ってはならない消火剤:** 特になし
- **特有の危険有害性:** 加熱により有毒ガス（塩素、塩化水素、酸化ナトリウム）を生成
- **特有の消火方法:** 危険でなければ容器を安全な場所に移動
- **消火活動を行う者の保護:** 空気呼吸器、耐熱防護服着用

⑥ 漏出時の処置

- **人体対策:** 保護具着用、関係者以外立ち入り禁止、換気を行う
- **環境対策:** 河川・下水・地下水への流入を避ける
- **封じ込め方法:**
 - 少量: 吸収材（砂、ウエス）で吸収し容器に回収
 - 大量: 土のうでせき止め、可能な限り容器に回収
- **二次災害防止:** 酸との混触を避け塩素ガス発生を防止、水で十分に洗い流す

⑦ 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 十分に換気の良い場所で使用、局所排気装置設置推奨
- 保護具着用
- 皮膚・眼に触れないよう注意
- ミストを吸入しないこと

⚠ 重要警告

酸性洗剤・製品と絶対に混合しないこと（有毒な塩素ガス発生の危険）

- 他薬剤との混合厳禁
- 飲料用容器への小分け厳禁
- 使用後は手をよく洗う

保管

- 密閉可能な遮光容器
- 直射日光を避け冷暗所（40℃以下）で保管
- 凍結を避ける
- 換気の良い場所
- 子供の手の届かない場所
- **混触禁忌物質:** 酸類、還元剤、アンモニア、有機物、金属類
- **使用期限:** 製造後1年以内

⑧ 暴露防止及び保護処置

許容濃度

物質	日本産業衛生学会（2023年版）
次亜塩素酸ナトリウム	設定なし
水酸化ナトリウム	2 mg/m ³ （天井値）
水酸化カリウム	2 mg/m ³ （天井値）

設備対策

- 局所排気装置または全体換気装置
- 洗眼設備、緊急シャワー設置

個人用保護具

部位	保護具
呼吸器	ミスト発生時は防じん・防毒マスク
手	耐薬品性ゴム手袋（ニトリル、天然ゴム等）
眼	保護眼鏡（サイドシールド付き）または保護面
身体	保護衣、保護長靴、必要に応じてエプロン
衛生	取扱い後は手洗い・うがい、飲食・喫煙禁止

9 物理的及び化学的性質

項目	値
物理的状態	液体
色	淡黄色透明液体（僅かに緑がかかることあり）
臭い	わずかな塩素臭
pH（原液）	約11.5～12.0
融点／凝固点	0℃以下
沸点	約100℃（水として）
引火点	該当なし（不燃性）
燃焼性	不燃性
蒸気圧	水と同等（約2.3 kPa @20℃）
比重（25℃）	約1.02
溶解性	水に混和
粘度	水とほぼ同等

10 安定性及び反応性

- **反応性:** 酸類と反応して有毒な塩素ガス発生。金属と反応する場合あり
- **化学的安定性:** 通常条件で安定。日光・高温・長期保管で次亜塩素酸ナトリウム分解
- **危険反応:** 酸との混合で塩素ガス、アンモニアと反応してクロラミン発生
- **避けるべき条件:** 高温、直射日光、凍結、酸性環境
- **混触危険物質:** 酸類、アンモニア、還元剤、有機物、金属
- **分解生成物:** 塩素、塩化水素、酸化ナトリウム

11 有害性情報

急性毒性（混合物として推定）

経路	推定値	GHS区分
経口（ラットLD50）	>5,000 mg/kg	区分外
経皮（ウサギLD50）	>2,000 mg/kg	区分外
吸入	データなし	分類できない

参考データ

- 次亜塩素酸ナトリウム: 経口ラットLD50 = 8,910 mg/kg
- 水酸化ナトリウム: 経口ラットLD50 = 500 mg/kg（本製品では0.32%未満）
- 水酸化カリウム: 経口ラットLD50 = 273 mg/kg（本製品では0.05%未満）

その他の有害性

- 皮膚腐食性/刺激性: 区分2
- 眼刺激性: 区分2A
- 感作性・変異原性・発がん性・生殖毒性・STOT・吸引性: 分類できない／該当データなし

12 環境影響情報

- 生態毒性:
 - 魚類LC50（96h）: 約0.06 mg/L（次亜塩素酸ナトリウム）
 - 分類: 水生環境有害性 区分3
- 残留性・分解性: 次亜塩素酸塩は水中で塩化物イオン等に分解、残留性低い
- 生体蓄積性: 低い
- 土壌移動性: データなし
- その他: 河川・湖沼・海洋への直接排出は避けること

13 廃棄上の注意

⚠ 重要警告：酸で中和すると塩素ガス発生のため絶対禁止

- 多量の水で希釈、必要に応じてチオ硫酸ナトリウム等で還元処理
- **酸で中和すると塩素ガス発生のため絶対禁止**
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、都道府県知事許可の専門業者に委託
- 空容器は水で十分に洗浄後、地域の規則に従い処分
- 廃棄物処理業者に危険性・有害性を告知の上処分

14 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送（消防法・毒劇法）	該当なし（規定濃度未満）
海上輸送（船舶安全法）	該当なし
航空輸送（航空法）	該当なし

国際規制

国連番号	該当なし（次亜塩素酸ナトリウム1%未満）
UN Proper Shipping Name	該当なし
クラス・容器等級	該当なし
海洋汚染物質	非該当

輸送上の特別対策

- 転倒・落下・破損を防ぐ
- 容器を密栓
- 直射日光を避ける
- 酸性物質と一緒に輸送しない

15 適用法令

法令	該当性
労働安全衛生法	通知対象物含有だが規定濃度（1%）未満のため通知義務外
労働基準法	疾病化学物質（一部成分）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当なし
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当（不燃性液体）
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	該当なし
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物処理法	該当（産業廃棄物：廃アルカリ）
家庭用品品質表示法	家庭用販売時該当

16 その他の情報

引用文献

- 厚生労働省「化学物質のSDS作成マニュアル」
- JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）化学物質総合情報提供システム
- 日本産業衛生学会「許容濃度等の勧告」

記載事項の取扱い

- 本SDSに記載した内容は、現在入手できる資料、データ、情報に基づいて作成しており、いかなる保証をなすものではない
- 記載の注意事項は通常の実用を前提としており、特殊な取扱いには適した安全対策を実施のうえご使用ください
- 本製品を他社原料と混合または他の用途に使用した場合、本SDSは適用されない
- 本SDSはJIS Z 7253:2019に準拠